

2021年6月20日

きょうかいがっこうコーナー

年間第12主日

ふくいん（マルコ 4.35～41）

きんきゅうせんげんがたぶんきょうの20かでおわるので、みなさまと、ちかいうちにかおをあわせることができるのとたのしみにしています。

そのひのゆうがたになって、イエスは「むこうぎしにわたろう」とでしたちにいわれた。そこででしたちはぐんしゅうをあとにのこし、イエスをふねにのせたままこぎだした。ほかのふねもいっしょであった。はげしいとつぷうがおこり、ふねはなみをかぶって、みずびたしになるほどであった。しかし、イエスはとものほうでまくらをしてねむっておられた。でしたちはイエスをおこして、「せんせい、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか」といった。イエスはおきあがって、かぜをしかり、みずうみに、「だまれ、しずまれ」といわれた。すると、かぜはやみ、すっかりなぎになった。イエスはいわれた。「なぜこわがるのか。まだしんじないのか。」でしたちはひじょうにおそれて、「いったい、このかたはどなたなのだろう。かぜやみずうみさえもしたかうではないか」とたがいにいった。

きょうのふくいんしよは、ゆっくりよめばよくわかるとおもいます。もういちどよむとどんなできことだったかが、よくわかります。

でしたちは、ふねがしずむのじゃないかとおそれて、パニックおこしてしまいましたね。ふあにつばいで、そのうえにイエスさまねむっておられたから、じぶんたちはどうなるかと、もっとふあんになったでしょう。イエスさまをおこして、なんとかするようにとところからねがっていたにちがいないでしょう。ことばはちがいますが、イエスさまをせめるようになってしまいました。そのとき、イエスさまはかぜをしかって、みずうみに「だまれ、しずまれ」といわれます。すると、ふしぎなことに、かぜはやんでしまい、あらしもおさまりました。でしたちは、イエスさまのことをしんじていなかったようで、もっとびっくりしてしまいました。

わたしたちも、でしたちのようなことをまいにちのせいかつのなかで、しているのですね。イエスさまはいつもともにいるのに、ふあんになったり、こわがってしまうこともあります。

そのときに、イエスさまにまかせたら、ちからがわいてくるので、イエスさまにいいましょう「イエスさま、たすけてください。」という、かならず、きょうのできことのように、すぐ「だまれ、しずまれ」といつくださるので、こわがることはないのですよ。

きょうのふくいんを、よくわかるために、えをとおして、また、○のところのことばをいれてうめたら、きょうのあらしのはなしがよ〜くわかるでしょう。がんばってね。

（つぎに PDF で 2 枚あります）